

ジュクワザ 熟技

1

「キーワード」の発見

＜本冊20ページ

1

何度も繰り返される「キーワード」は、必ずチェックする！

熟技解説

何度も繰り返される言葉は、「キーワード」になる可能性が高い。「同じ言葉」だけでなく「同じ内容」になっている表現もチェックしよう！

ひとことコメント

「キーワード」は、必ず出ている問題の答えや記述問題の解答要素になることが多い。

ジュクワザ 熟技

2

「筆者の主張」の発見

＜本冊22ページ

2

文末表現や書き出しの言葉が「筆者の主張」を見つけるヒントになる！

熟技解説

「筆者の主張」を見つける目印となる言葉があったら、その直前や直後に書かれている内容をしっかりチェックしよう！

ひとことコメント

目印となる言葉を見つけただけで安心しないで、その前後に書かれている筆者の主張を確かにつかみ、問題を解くときに活用しよう。

ジュクワザ 熟技

3

内容の「かたまり」と文章構造

＜本冊24ページ

3

内容の「かたまり」を意識すれば、
文章の構造が見えてくる。

熟技解説

文章を読むときには、内容の「かたまり」を意識しながら読み進め、「どこにどんなことが書いてあるのか」をつかむ！

ひとことコメント

新たな「キーワード」が登場して話題が変わったところは、必ずチェックしよう。

ジュクワザ 熟技

4

「問いかけ」と「答え」

＜本冊26ページ

4

筆者の「問いかけ」があつたら、その「答え」を必ず確認する。

熟技解説

「問いかけ（＝問題提起）」が出てきたら、「答え」を探しながら読み進めていく。その「答え」は問題でも問われることが多いので、線を引いてチェックしておこう！

ひとことコメント

「問いかけ（＝問題提起）」の部分には、筆者が特に大事だと考えているテーマが示されているので、要注意。

ジュクワザ 熟技

5

対立 「一般論」と「筆者の主張」の

＜＜本冊28ページ

5

「たしかにAしかしB」は、筆者が一般論をバツサリ切って、主張を展開する合図！

熟技解説

読解の際に大切なのは、「B」に注目すること。一般論は、あくまでも筆者の主張の引き立て役にすぎないので、「しかし」「でも」「ところが」などの逆接に注意して、筆者の主張をつかもう！

ひとことコメント

「たしかに（もちろん）なるほど・もつと（も）」「と」「しかし（でも）」「ところが」「のペアは、空欄補充問題でも問われることが多いよ。

ジュクワザ 熟技

6

定義のカタチ「AとはB」

＜＜本冊30ページ

6

「AとはB」が出てきたら、定義される「A」とその説明の「B」をチェックしよう！

熟技解説

論説文で「とは」が出てきたら要チェック！「とは」のあとには、本文の内容をつかむうえで重要な説明が書かれている可能性が高い。

ひとことコメント

「AとはB」の「B」の部分に書かれている説明をていねいに確認して、「A」の意味を正しくつかもう。

ジュクワザ 熟技

7

強調のカタチ「AこそB」

＜本冊32ページ

7

「AこそB」は強調表現。「こそ」に注目して、筆者の主張を発見しよう！

熟技解説

強調表現に着目することで、筆者の主張が見えてくる。強調表現が出てきたら、「何が強調されているか」を意識して読もう！

ひとことコメント

「AこそB」のカタチでは、「B」の部分が筆者の主張になるので、問題でも問われやすいからね。

ジュクワザ 熟技

8

比較のカタチ「AではなくB」「AだけではなくB」

＜本冊34ページ

8

「AではなくB」「AだけではなくB」の比較のカタチでは、「B」のほうがより重要になる！

熟技解説

比較のカタチでは、「B」のほうが大切だが、「A」を無視してよいわけではない。二つのものを比べることで、筆者の意見がよりはっきりとわかる！

ひとことコメント

「ではなく」と「だけではなく」の違いも意識して、筆者の主張をつかもう。

ジュクワザ 熟技

9

「対比」の発見

＜本冊36ページ

9

二つのものを比べる「対比」を見ぬ
いて、筆者の主張をつかむ！

熟技解説

論説文で「何かと何かを比べる」内容が出てきたら、問題で問われる可能性が極めて高い。比べられているものに線を引いて、チェックしておこう！

ひとことコメント

「対比」は中学入試の論説文で超頻出のカタチ。筆者がどちらをみごとく強調しているのかを確実に確認しよう。

ジュクワザ 熟技

10

「類比」の発見

＜本冊38ページ

10

複数のものの共通点（＝類比）は、
筆者の主張の裏付けになっている！

熟技解説

論説文で複数のものが出てきたときには、それらの異なる点（＝対比）だけでなく、共通点（＝類比）も意識すると、筆者の主張がわかりやすくなる！

ひとことコメント

「類比」は難しい内容をわかりやすく説明するために用いられることが多い。

ジュクワザ 熟技

11

「対比」と「類比」

＜本冊40ページ

11

「対比」であり「類比」であるパターンでは、相違点^{そういってん}だけでなく共通点にも注目する！

熟技解説

相違点（対比）と共通点（類比）の両方を問われることもあるので、個々の違い^{ちがひ}だけでなく共通する点にも目を向けよう！

ひとことコメント

「対比」はそれぞれの違いを細かくつかみ、「類比」は大きな枠組みで共通点をいっしょに考えよう。

ジュクワザ 熟技

12

指示語の活用

＜本冊42ページ

12

指示語の指示内容を探すときは、直後をヒントにして前を見る！

熟技解説

指示語が問題として直接問われていない場合でも、指示内容を正しく理解していないと正解できない問題もある。常に指示語の指示内容を明らかにしながら読むことを意識しよう！

ひとことコメント

——線部に指示語が含まれている場合には、指示語の内容を明らかにしたうえで答えを導いていこう。

接続語の活用

＜本冊44ページ

13

接続語は、本文を読み進める「標識」の役割をする。

熟技解説

まずは、それぞれの接続語のはたらきをしっかりと覚えよう。接続語のはたらきがわかると、前後の文や段落の関係がつかみやすくなる！

ひとことコメント

接続語に注目したあとには、その前後の部分がどのような関係になっているかを必ず確認しよう。

助詞「は」「も」「や」

＜本冊46ページ

14

「は」「も」「や」などの助詞は、実はかなり大事！

熟技解説

「は」「も」「や」は、たった一文字でも重要なはたらきをする。これらの助詞に注意して、「区別」「同じ種類」「並列・列挙」の関係をつかもう！

ひとことコメント

たとえば、「国語は得意だ」と書かれていたら、国語だけが得意ということになるけれど、「国語も得意だ」と書かれていたら、国語以外にも得意な教科があるとわかるね。

ジュクワザ 熟技

15

数を示す言葉

本冊48ページ

15

「第一に」「第二に」などの、数を示す言葉が出てきたら、すべての内容を確実につかむ！

熟技解説

文章中に数を示す言葉が使われている場合には、すべての内容をしっかりとつかめているかどうかを試す問題が出されやすくなる。文章を読んでいくときに、これらの言葉に印をつけておくようにしよう！

ひとつことコメント

その他にも、前に書かれていた内容を示す「前者」「後者」などの言葉が、あとに書かれていた内容を示すときは「前者」「後者」が使われることがある。

ジュクワザ 熟技

16

「具体例」と「まとめ」

本冊50ページ

16

「具体例」が出てきたら、その前後に書かれている「まとめ」の部分に着目しよう！

熟技解説

具体例そのものよりも「筆者の主張」が書かれている部分のほうが大事だけれど、具体例を読み飛ばすのは厳禁。具体例と「筆者の主張」のつながりをしっかりと読み取るよう！

ひとつことコメント

具体例が複雑で理解しづらいときにも「まとめ」の部分を読む「筆者の主張」がわかることがある。

ジュクワザ
熟技

17

「原因・理由」と「結果」

＜本冊52ページ

17

「原因・理由」と「結果」は、ペアを意識して読み進めよう！

熟技解説

因果関係は、本文の内容を理解するうえで重要なものもちらんのこと、設問でもよく問われる。特に「原因・理由」が答えのポイントになりやすいので、しっかりとチェックしておこう！

ひとことコメント

「原因・理由」は、筆者の主張の根拠（てんぽう）を示すことが多いので、問題を解くときにも重要なポイントになる。

ジュクワザ
熟技

18

序論・本論・結論

＜本冊54ページ

18

「結論」が書かれている場所を意識して、文章構造をとらえよう！

熟技解説

論説文で「最後の部分が大事」と言われるのは、尾括型（びくわくがた）や双括型（そうくわくがた）で「結論」が示されている場所だから。文章の「型」を見なければ、特に重要なところがわかるようになる！

ひとことコメント

ごくまれに、「結論」が述べられたあとに、「補足」が入るというケースもあるよ。

ジュクワザ 熟技

19

「皮肉」と「逆説」

＜本冊56ページ

19

「皮肉」や「逆説」によって表現されている部分には、筆者の主張が強く表れる。

熟技解説

「逆説」という漢字も重要。接続語の種類である「逆接」とは違うので注意しよう！

ひとことコメント

「皮肉」や「逆説」の表現が用いられている箇所には、筆者の主張が強く表れているので、問題でもよく問われる。

ジュクワザ 熟技

20

「」のはたらき

＜本冊58ページ

20

「」を使って本来とは違う意味を持たせているパターンに注意！

熟技解説

本来とは違う意味を持たせる「」が本文中に出てきたら、筆者がどのような意図で「」を使っているのかわかることが多い。

ひとことコメント

「」だけでなく、「」や「」などの記号も同じように使える。

人物の気持ち①
気持ちを表す言葉

重要度 ★★★★★

≪本冊60ページ

21

物語文の読解では、「気持ちを表す言葉」を必ずおさえる！

熟技解説

「心情語」や「心の中の思いを表す言葉」をおさえることはもちろん、気持ち在外面に表れていることを示す「動作・表情・発言を表す言葉」にも注目して、人物の気持ちをつかむようにしよう！

ひとことコメント

「動作・表情・発言を表す言葉」などの、間接的に「人物の気持ち」を表現している部分は、問題でよく問われるよ。

人物の気持ち②
原因・理由と気持ち

重要度 ★★★★★

≪本冊62ページ

22

「気持ちを表す言葉」を見つけたら、「原因・理由」を探す！

熟技解説

「原因・理由」次第で、人物の気持ちはまったく違うものになる。「原因・理由」↓「気持ち」↓「動作・表情・発言」の流れをつかむ「客観的」な読解を心がけよう！

ひとことコメント

物語文でも、論説文と同じように「客観的」に読むことが大事。「客観的」な読み方を身につけて、安定して得点できるようになりましょう。

本心とは違^{ちが}う言動

重要度 ★★☆☆

＜本冊64ページ

23

人物の言動には、本心ではないものがある！

熟技解説

「本心とは違^{ちが}う言動」は、読解問題でならわれやすい。本心がかかる表現を探して「本当の気持ち」をつかもう！

ひとことコメント

「本心とは違^{ちが}う言動」の読解では、登場人物の性格（人柄）も重要。ひねくれているたり素直^{すなお}ではなかったりする場合には、本当の気持ちを隠^{かく}していることがあるので、注意しよう。

人物の気持ちの変化

重要度 ★★☆☆

＜本冊66ページ

24

物語文では、「人物の気持ちの変化」が最も大事なポイントになる！

熟技解説

物語文の読解問題で、「人物の気持ちの変化」は特によく問われる。「変化前」→「きっかけ」→「変化後」という流れをしっかりとつかもう！

ひとことコメント

「マイナス」の気持ちから「プラス」の気持ちへの変化だけでなく、「プラス」から「マイナス」の気持ちの変化のパターンもあるので、本文の内容を丁寧にチェックしよう。

人物の成長

重要度 ★★★★★

≪ 本冊68ページ

25

「人物の成長」は中学入試頻出。^{ひんしゅつ}「マインラス」から「プラス」への変化に注目する。

熟技解説

「人物の成長」は、「人物の気持ちの変化」と同じように「変化前」→「きっかけ」→「変化後」の型でつかもつ。よくあるパターンを知っておくと、読み取りやすくなる！

ひとことコメント

「人物の成長」を読み取るときには、その人物の「内面」に注目して、どのような変化があったのかをつかんでいく。

気持ちの葛藤^{かっとう}

重要度 ★★★★★

≪ 本冊70ページ

26

心の中で気持ちがぶつかり合っていたら、「気持ちの葛藤」が描かれて^{えが}いると考える。

熟技解説

「人物の気持ちの変化」や「人物の成長」がテーマの文章でも、「気持ちの葛藤」はよく登場する。相反する気持ちが出てきたら、チェックしておこう。

ひとことコメント

「気持ちの葛藤」が描かれている場面では、人物の心の中の描写^{めいじょう}が多くなるよ。人物の思いが描かれているところに着目しよう。

場面分け

重要度 ★★★★★

≪ 本冊72ページ

27

物語文の場面分けは、「時間」「場所」「人物」「気持ち」に注目する！

熟技解説

物語文の場面分けは、「時間（いつ）」「場所（どこ）」がほとんど。「時間」や「場所」で区切れない場合には、「人物」と「気持ち」にも注目しよう。

ひとことコメント

選択問題で、まだ起こっていないことまで書かれている誤り選択肢にひっかかるなら、よく読むためにも、「場面分け」の技をしっかりと身につけておこう。

回想シーン

重要度 ★★★★★

≪ 本冊74ページ

28

過去のできごとが書かれている「回想シーン」は、「現在」と区別して読む。

熟技解説

現在の場面と過去の場面の境目を見つけるときには、「時間」「場所」「人物」「気持ち」がわかる表現だけでなく、風景の描写や会話のつながりにも注目しよう！

ひとことコメント

「回想シーン」の中には、人物の気持ちや行動の重要な根拠（原因・理由）が書かれていることもあるので、要注意。

比喩表現

重要度 ★☆☆

本冊76ページ

29

比喩は、「たとえられているもの」「たとえているもの」「共通点」の三つをつかむ。

熟技解説

比喩表現は、読んでいる人に具体的なイメージを持ってもらうために用いられる。「何をどのようにとたとえたものか」を考えながら読み進めよう！

ひとことコメント

本文中に比喩表現が用いられている場合には、比喩の意味を正しく言い換える問題が出題されることが多いため、比喩の意味を正しく言い換える問題が出題されることが多いため。

情景描写

重要度 ★☆☆

本冊78ページ

30

物語文の「情景描写」は、人物の気持ちを表す大事なポイント！

熟技解説

情景描写は、作者が特別な意味を持たせていることが多いので、その意味を考えさせる問題が出されやすい。よくあるパターンを知って、対処できるようにしよう！

ひとことコメント

「天気」「光」「影」などは、情景描写としてよく登場する。さりげない表現であっても、その意味を正しく読み取る必要がある。

象徴・暗示

重要度 ★☆☆

≪ 本冊80ページ

31

「象徴」「暗示」に込められている特別な意味を読み取ろう。

熟技解説

「象徴」や「暗示」は問題としてねらわれやすい。文章の内容を「ヒント」にして、その意味をつかもう！

ひとことコメント

「象徴・暗示」の読み取りでは、目に見える具体的なもののイメージと文章の内容の「共通点」を考へてみよう。

登場人物の性格（人柄）

重要度 ★☆☆

≪ 本冊82ページ

32

登場人物の性格（人柄）は、言動（セリフ・行動）から客観的に読み取る！

熟技解説

人物の性格は、具体的な言動をもとに考える。また、人物の意外な一面が描かれている部分は問題で問われやすいので、要注意！

ひとことコメント

登場人物の性格（人柄）を表す「つつまじ」「向うつ見ず」「おらか」「思慮深（しりょうぶか）」「ひょつひょつとした」などの言葉も覚えておこう。

表現の工夫くふう

重要度 ★★☆☆

≪ 本冊84ページ

33

表現の工夫がされている箇所があったら、その意図や効果を考える。

熟技解説

「ひらがな」「カタカナ」の表記は、特に問題で問われやすい。登場人物の年齢や立場などから、その意図や効果を考えよう。

ひとことコメント

「漢字」なら意味がわかる言葉も、「ひらがな」や「カタカナ」だと意味が伝わりにくいことがあるね。「ひらがな」や「カタカナ」の表記は、それを利用した表現技法なんだよ。

時代背景の知識

重要度 ★★☆☆

≪ 本冊86ページ

34

戦前や戦中が舞台になっている文章を読むには、時代背景の知識があるとよい。

熟技解説

物語文では、時代背景に関する知識がないと理解しづらい設定がある。特に、戦前や戦中の制度や暮らしについて知っておくようにしよう。

ひとことコメント

たとえば、山本有三の『路傍の石』は、優秀でありながらも経済的な理由から進学をあきらめざるを得なかった少年・愛川吾一が主人公の物語で、中学入試でもよく出題されているよ。

恋愛感情が描かれた物語文

＜本冊88ページ

35

恋愛がテーマになっている文章では、「人間関係」「気持ちの方向」「慣用表現」に注目しよう！

熟技解説

「恋愛に関する慣用表現」を知らないために、恋愛がテーマの文章を苦手になっている人は、実は意外と多い。よくあるパターンとして覚えておくと、苦手克服に役立つ！

ひとことコメント

恋愛感情は、「気持ちの変化」の形で描かれることもあるよ。「はじめは苦手だったが、優しい一面を持っていることを知り、心ひかれるようになった」というようなケースだね。

大人の視点で描かれた物語文

＜本冊90ページ

36

大人の視点で描かれていても、人物の気持ちを客観的にとらえればよい！

熟技解説

大人の視点で描かれた物語文を読むときには、主人公の「立場」をふまえ、「原因・理由」と「気持ち」をつなげて客観的に読んでいこう！

ひとことコメント

近年では、「家庭と仕事の両立の悩み」がテーマになっている文章も多く出題されるようになってきているよ。

SF・ファンタジー

重要度 ★☆☆☆

≪ 本冊92ページ

37

現実にはありえない設定が出てきても、人間社会の現実と重ね合わせる！

熟技解説

人間以外のものが主人公になっている物語でも、人間の行動パターンに重ね合わせて考え、その気持ちを読み取っていく。

ひとことコメント

人間以外のものが主人公になっている文章であっても、その特殊な設定さえ理解できれば決して難しくなく、焦らずに「客観的」な読解を心がけよう。

寓話的な物語文

重要度 ★☆☆☆

≪ 本冊94ページ

38

寓話的な物語文では、文章全体を通して示される「教訓」をつかむ。

熟技解説

寓話的な物語文には、教訓が含まれる。動物たちの行動を人間社会の現実と重ね合わせて、メッセージを読み取ろう。

ひとことコメント

寓話的な物語文を読む際には、そこに登場する動物の特徴や置かれている環境をつかむと、その物語が伝えようとしているメッセージが見えてくるよ。

外国文学

重要度 ★☆☆☆

≪ 本冊96ページ

39

物語文で外国文学が出てきたら、文化の違いに気をつけて読む！

熟技解説

外国文学の読解では、日本の常識や感覚で判断せずに、作品の背景を理解することを心がけよう！

ひとことコメント

外国文学では、人物名もなじみのないものが多いので、しっかりと印をつけながら、登場人物の関係をつかもう。

随筆文の読解

重要度 ★★★★★

≪ 本冊98ページ

40

随筆文の読解には、論説文と物語文の読み方が利用できる！

熟技解説

随筆文は、エピソードが長めの論説文や物語文だと考えればよい。論説文や物語文の読み方で学んだことを利用して読んでいこう。

ひとことコメント

実際の入試問題でも、論説文が随筆文か分類しづらい文章が出題されることがある。随筆文の読解のための特別な対策は必要ないので、これまでに学んだことをいかして読んでいこう。

「エピソード」と「主張」の
読み分け

≪ 本冊100ページ

41

分量の多い「エピソード」の部分に
振り回されず、筆者の主張をつかも
うー！

熟技解説

エピソードが長い随筆文では、体験が書かれている部分と
筆者の主張が書かれている部分をしっかりと区別して読んで
うー！

ひとこと
コメント

もしもエピソードの部分に意味のわからない言葉があったとし
ても、「筆者の主張」がとらえられていれば、読解のうえでは問
題ない。最も大事な部分を確認につかまよう！

筆者のオリジナル表現

≪ 本冊102ページ

42

随筆文では、筆者のオリジナル表現
(独自の言い回し・個人言語) に着
目しよう！

熟技解説

筆者のオリジナル表現(独自の言い回し・個人言語)には、
筆者の強い思いが込められている。表現上の工夫に注目し
て、その意味を明らかにしよう！

ひとこと
コメント

筆者のオリジナル表現には筆者の強い思いが込められているの
で、問題でも問われやすくなるよ。本文中でその意味が説明さ
れている部分があったらチェックしよう！

ジュクワザ 熟技

43

詩の分類と表現技法

本冊104ページ

43

詩の分類と表現技法は「得点源」。
それぞれの特徴を確実におさえる！

熟技解説

中学入試の国語で出題される詩の多くは、「口語詩」「自由詩」「叙情詩」。また、文体と形式をまとめて「口語自由詩」などと表現することが多い。

ひとことコメント

中学入試では、「叙事詩」は（ほぼ）出題されない。また、「叙事詩」と「叙情詩」はその区別があまりないので、これらの区別をさせる問題もあまり出題されない。

ジュクワザ 熟技

44

詩の読解① 映像化

本冊106ページ

44

詩の読解では、文字によって説明されていない部分を映像として思い描くようにする！

熟技解説

映像化は物語文などでも使える方法だが、詩の読解では映像をイメージすることが特に大事。文字から情景を思い浮かべて、詩の内容をとらえよう！

ひとことコメント

詩は、少ない文字数で書かれているので、一つひとつの言葉に注目しながら、詩の中に描かれている思いをつかまよう。

ジュクワザ 熟技

45

詩の読解② 主題

≪ 本冊108ページ

45

一つひとつの言葉を大切に、詩の主題をつかむ。

熟技解説

詩の主題(テーマ)は、難関校の詩の問題では確実に問われる。詩の情景だけでなく、そこに込められたメッセージをとらえよう！

ひとことコメント

詩は普通の文章よりも文字数が少ないので、詩の中の言葉を手がかりにしながらか背景や心情を補って主題を考へていく。

ジュクワザ 熟技

46

詩十解説文

≪ 本冊110ページ

46

解説文がついている詩は、解説文の解釈に沿って考えるのが鉄則！

熟技解説

「詩十解説文」の問題は、詩だけの問題よりも解きやすい。解説文をしっかり読んで、解釈の方向性を確認しよう。

ひとことコメント

詩十解説文の問題で「詩」の中に——線が引かれている部分があったら、「解説文」でその説明をしている箇所を探そう。

ジュク ワザ 熟技

47

短歌の知識と読解

＜本冊112ページ

47

短歌は「五・七・五・七・七」の文学。
まずは音数の決まりと句切れを覚えておこう！

熟技解説

短歌には、詩の表現技法も使われる。特徴的な表現に注意して意味を考えていこう。

ひとことコメント

短歌の問題は、短歌+解説文の形式で出題されることも多い。解説文をヒントにして解釈の方向性をつかおう。

ジュク ワザ 熟技

48

俳句の知識と読解

＜本冊114ページ

48

俳句は文字数が少ないので、内容や情景を映像化して考えよう！

熟技解説

俳句は十七音という少ない文字数で作者の感動が表されている。季語や切れ字に注意しつつ、省略されている言葉を補って情景を映像化しよう。

ひとことコメント

「天の川」「七夕」「台風」などは、現在の感覚では夏のイメージだが、すべて「秋」の季語なので、注意しよう。

設問文の理解

＜本冊116ページ

49

高得点を取るためには「設問文の正しい理解」が欠かせない。

熟技解説

設問の「指示」や「ヒント」を読み落としている受験生は
かなり多い。そのため、設問文にきちんと意識を向けられ
るようになれば、国語で大きく差をつけることができる。

ひとこと
コメント

テストの見直しをする際にも、「問題に正しく答えられているか
どっか」を確認する（ハ、ミスを防ぐ）ことができる。

本文と選択肢の照合

＜本冊118ページ

50

記号選択問題は「本文の内容をもとに解く」のが大原則！

熟技解説

記号選択問題は、一度読んだだけの「あいまいな記憶」で
解いてはいけない。本文と選択肢を照合して、確実に正解
できるようにしよう！

ひとこと
コメント

本文と選択肢の照合は、記号選択問題攻略のために欠かせない
手順。選択肢「だけ」を見て判断しては、国語で点数が取
れるようにはならない。

言い換えの選択肢

＜本冊120ページ

51

正解の選択肢は、本文の言葉を言い換えて作られることが多い！

熟技解説

選択肢の言い換えに気づくには、読解力と語彙力が不可欠。本文の言葉がそのまま使われている選択肢は、本当に正解かどうかをよく考えるようにしよう！

ひとことコメント

難関校の記号選択問題では、正解の選択肢が本文の言葉を言い換えて作られていることが多いので、まずは、自分自身で正解のイメージを作ってから選択肢を見るようにしよう。

選択肢の部分チェック

＜本冊122ページ

52

選択肢はいくつかのパーツに分割して、部分ごとにチェックを行う！

熟技解説

選択肢をいくつかのパーツに分割して部分チェックを行う際には、「なんとなく」○×をつけずに、必ず本文と照らし合わせる。これを面倒くさがってはいけません。記号選択問題の正答率は安定しない！

ひとことコメント

選択肢を分割してみると、解答に必要な要素がはっきりわかるので、「○」か「×」かを検討しやすくなるよ。

ひとこと
コメント

「択まではしぼれた」という場合には、選択肢同士を比較して違いを明らかにしたうえで、本文と再度照合して答えを出していきましょう。

塾技解説

本文と選択肢の照合だけでは答えがしぼりきれない場合は、選択肢同士の比較を活用しよう。内容の異なる部分が、正解を選ぶポイントになる！

53

記号選択問題では、**選択肢同士の比較**で違いを**あぶり出す**！

＜本冊124ページ

ジュクワザ
塾技

53

選択肢同士の比較

記号選択問題

重要度 ★★☆☆

ひとこと
コメント

「本文の内容を問う問題」や「表現の特色を問う問題」では、消去法を上手に活用すると正解しやすくなるよ。

塾技解説

選択肢だけを見て判断するのは間違った「消去法」なので厳禁。本文と照合しながら、誤っている選択肢を消していくようにしよう！

54

正誤の判断がきわどい**記号選択問題**では、**消去法**を上手に使おう！

＜本冊126ページ

ジュクワザ
塾技

54

消去法の活用

記号選択問題

重要度 ★★☆☆

ジュクワザ
熟技

55

誤り選択肢のパターン①
言いすぎ・本文に書かれていない

＜本冊128ページ

55

「言いすぎの内容」や「本文に書かれていない内容」の選択肢は正解にならない！

熟技解説

誤り選択肢のパターンを事前に知っておくことで、正誤の判断がしやすくなる。「本文の内容をもとに解く」ということを徹底したうえで、うまく活用しよう！

ひとこと
コメント

「言いすぎ」の選択肢がすべて誤りであるわけではないので注意。本文と選択肢をていねいに照合して検討しよう。

ジュクワザ
熟技

56

誤り選択肢のパターン②
内容不足・因果関係のねじれ

＜本冊130ページ

56

「内容不足」や「因果関係のねじれ」の選択肢は正解にならない！

熟技解説

本文が複雑で難解になればなるほど、因果関係を確認しながら、「なんとなく」答えを選んでしまいがちなので、「因果関係のねじれ」は誤り選択肢としてよく出題される！

ひとこと
コメント

選択肢の言葉が本文にもあるからといって安易に選んでしまうと誤り選択肢にひっかかりやすくなるよ。「内容不足」と「因果関係のねじれ」の可能性を意識してチェックしよう。

ジユク ワザ
熟技

57

誤り選択肢のパターン③
問題にきちんと答えていない

≪本冊132ページ

57

「問題にきちんと答えていない」選択肢は正解にならない！

熟技解説

設問を読んだあとにいきなり選択肢を見てしまうと、このパターンにひっかかりやすくなる。「問われていること」を確認し、自分自身で解答のイメージを作ってから選択肢を見るようにしよう！

ひとことコメント

「問題の要求に対応していきなり答えは正解にならない」というのは、ぬき出し問題や記述問題でも同じこと。問題を解くときは必ず、見直しのときにも、設問の確認をぬかりなく。

ジユク ワザ
熟技

58

本文の内容を問う問題

≪本冊134ページ

58

内容一致問題は、選択肢の中の言葉が使われているところを本文で探す！

熟技解説

内容一致問題は、選択肢の中の言葉が本文で使われているところを探し、「事実確認」を行うことが大事！

ひとことコメント

本文の内容を問う「内容一致問題」では、「正しいもの」ではなく「正しくないもの」を選ぶパターンも多いので、線を引いた印をつけたりして設問のチェックをしっかりと行おう。

ジュクワザ 塾技

59

表現の特色を問う問題

本冊136ページ

59

表現の特色を問う問題は、「消去法」を使うと解きやすくなる。

塾技解説

表現の特色を問う問題は、主に物語文で出題される。選択肢をもとに判断していくことができるので、「消去法」が有効！

ひとことコメント

表現の特色を問う問題では、選択肢が「表現の特色↓その効果」という流れになっていることが多いので、「表現の特色」と「その効果」の説明がきちんとならなければならないかも確認しよう。

ジュクワザ 塾技

60

タイトル・小見出しをつける問題

本冊138ページ

60

タイトル・小見出しをつける「ツ」は、「広すぎず・狭すぎず」。

塾技解説

タイトル・小見出しをつける問題は、「何について書かれているか」「どのように話が展開しているか」をつかむことがポイント！

ひとことコメント

タイトルや小見出しをつける問題では、選択肢同士を見比べて「広い」「狭い」を比較するときに、答えを選ぶやすくなるよ。

答えを探す前の準備

≪ 本冊140ページ

61

ぬき出し問題では、答えを探す前の
条件整理が力ギとなる！

熟技解説

ぬき出し問題で、条件の確認かくにんミスのために失点するのは
もったいない！ 設問文にも線を引いたり印をつけたりし
て、条件をしっかりとつかむようにしよう。

ひとこと
コメント

ぬき出し問題の正解・不正解は「答えを探す前の準備で九割決
まる」と言っても過言ではない。焦あせって探し始めずに、準備を
ていねいに行おう。

答えを探す範囲はんいをこしぼり込む

≪ 本冊142ページ

62

ぬき出し問題では、答えを探す範囲
を限定するのがポイント！

熟技解説

ぬき出し問題でスピーディに答えを見つけるために、設問
で問われていることをチェックして、「どのあたりを探さ
べきなのか」の見当をつけよう！

ひとこと
コメント

答えを探す範囲をしぼり込まないで本文全部の中から探すこと
したら、時間も余計にかかってしまう。「速く解く」ためには、
無駄むだな作業を減らすことも重要だよ。

ジュクワザ
熟技

63

答えの形式をそろえる

＜本冊144ページ

63

ぬき出し問題では、「答えの形式」も、
答えを探するときのヒントになる！

熟技解説

ぬき出し問題では、答えの形式も意識をして探すことで、時間を短縮できる。設問文にヒントや誘導がある場合が少なくないので、見逃さないようにしよう！

ひとつこと
コメント

本文中に同じ内容の部分が複数ある場合には、設問で示されている「答えの形式」を意識して正解をしばり込めよう。

ジュクワザ
熟技

64

同内容のぬき出し問題①
——線部をパーツに分ける

＜本冊146ページ

64

同内容のぬき出し問題は、——線部
をパーツに分けて対応箇所を探す！

熟技解説

同内容のぬき出し問題では、——線部をパーツに分けたうえで、言い換えられている箇所を探そう。言い換えを見ぬくためには語彙力も必要！

ひとつこと
コメント

「パーツに分ける」という考え方は、記号選択問題でもぬき出し問題でも有効。一気に答えを出せようとしてしまうと、一歩ずつでいいから考えていこう。Uchiwaでいいから。

ジュクワザ
熟技

65

同内容のぬき出し問題②
——線部を含む一文に注目する

≪本冊148ページ

65

同内容のぬき出し問題は、——線部を含む一文にも注目する！

熟技解説

同内容のぬき出し問題では、——線部の前後にも注目して、同じ言葉や同じ内容になっている部分を探してみよう！

ひとつこと
コメント

同じ言葉や同じ内容があるということは、それだけ重要な部分だということなので、問題作成者はそこをぬき出し問題の答えにしたくなるんだよ。

ジュクワザ
熟技

66

字数指定のあるぬき出し問題

≪本冊150ページ

66

字数指定のあるぬき出し問題は、問題作成者のねらいも意識しよう！

熟技解説

ぬき出し問題の字数指定は、「答えの誘導」の一種。字数指定から問題作成者のねらいをつかめると、自信を持って解答することができる！

ひとつこと
コメント

ぴったりの字数指定になっている問題は、正解か不正解かの判別がしやすいので、必ず得点できると信じてほしい。

ジュクワザ 熟技

67

接続語の空欄補充問題①
空欄の前後に注目する

≪ 本冊152ページ

67

接続語の問題は、空欄の前後のつながりから論理的に解くことが大事！

熟技解説

接続語の空欄補充問題は、空欄の前後の関係をつかみ、適切な接続語を補うことができるかどうかを試している。直感ではなく、論理的に答えを導く習慣をつけよう！

ひとことコメント

接続語の種類がわかっても、空欄の前後の関係を正しくつかめないと、接続語の空欄補充問題には正解できない。空欄の前後をていねいにチェックしよう。

ジュクワザ 熟技

68

接続語の空欄補充問題②
解きやすいものから処理する

≪ 本冊154ページ

68

接続語の空欄補充問題は、解きやすいものから処理していくのが鉄則！

熟技解説

接続語の空欄補充問題は、順番に解く必要はない。解きにくいものは保留にして、最終的に残ったものの中から答えを考えよう！

ひとことコメント

「逆接」は、前後が反対の内容になっているため比較的わかりやすいが、「対比」との区別がつかない場合、選択肢の中に両方ある場合にはあとで回して決めるのも一手。

ジュク ワザ 熟技

69

副詞の空欄補充問題

＜本冊156ページ

69

副詞の空欄補充問題は、空欄のあと
の言葉に注目して解いていく！

熟技解説

呼応の副詞は、覚えてしまえば確実に得点できるので、必ずセットで覚えておこう！

ひとことコメント

副詞はあとにくる言葉を修飾する（＝くわしく説明する）はた
ひきをよめる言葉なので、空欄のあとの部分に特に注意しよう。

ジュク ワザ 熟技

70

キーワードの空欄補充問題

＜本冊158ページ

70

キーワードや重要語句の空欄補充問
題は、空欄の前後にヒントがある！

熟技解説

キーワードや重要語句の空欄補充問題は、空欄の周辺から
答えのヒントをすばやく見つけることがカギとなる！

ひとことコメント

キーワードの空欄補充問題は、「なにをなへ」「考え始めると正解
がしほりきれなくなってしまうので、必ず空欄の前後からヒ
ントをつかんでから答えを出すようにしよう。

ジュク ワザ 熟技

71

複数の空欄補充問題

≪ 本冊160ページ

71

複数の空欄補充問題は、空欄同士の関係をヒントにすることができー！

熟技解説

複数の空欄補充問題は、「対比」「類比」「因果」「並立」などの「空欄同士の関係」を考えたいうえで判断していくようにしよう！

ひとことコメント

複数の空欄補充問題でも、必ずしも前にある空欄が解きやすいわけではないよ。空欄同士の関係を考えたいうえで、解きやすいものから考えていこう。

ジュク ワザ 熟技

72

候補のある脱文挿入問題

≪ 本冊162ページ

72

脱文挿入問題は、「指示語」「接続語」「キーワード」の三点がカギ！

熟技解説

脱文挿入問題では、脱文の中にある「指示語」「接続語」「キーワード」に注目してヒントをつかむことが大事。本文とのつながりを発見できれば、確実に正解できるようになる！

ひとことコメント

脱文挿入問題は、文脈をきちんと把握できているかどうかを試すために出題される。脱文の分析をしつかり行い、本文とのつながりを発見しよう。

ジュクワザ
熟技

73

候補のない脱文挿入問題

≪ 本冊164ページ

73

候補のない脱文挿入問題では、戻すべき場所の候補を自分で見つける！

熟技解説

候補のない脱文挿入問題は、やみくもに考えるのではなく、脱文の中からヒントを見つけて、挿入箇所をしばらく見つけよう！

ひとことコメント

候補のない脱文挿入問題では、「解答するもの」のミスが非常に多くなる。「直前の」「直後の」などの設問の指示を繰り返し確認する必要がある。

ジュクワザ
熟技

74

文を正しく並べ替える問題

≪ 本冊166ページ

74

文整序問題は、まず二文（ペア）を作ってから並べ替える！

熟技解説

「文整序問題」は、「脱文挿入問題」の解き方と共通する部分が多い。どちらも、文脈をとらえられているかどうかを試すために出題されるので、しっかりと手順を踏んでつながりを見つけてよう！

ひとことコメント

文整序問題は、「指示語」「接続語」が含まれている文から優先的に並べ替えていくと解きやすい。また、乱文の前後の部分とのつながりを確認する作業も忘れないようにしよう。

ジュクワザ 熟技

75

会話を並べ替える問題

≪ 本冊168ページ

75

会話文整序問題は、会話のキャッチボールを意識して並べ替えよう！

熟技解説

会話文整序問題では、誰と誰が話をしているのか、誰の言葉に対して誰が答えているのかなど、状況をしっかりとイメージすることが大切！

ひとことコメント

会話文整序の問題では、「問答」の形式を意識しながら、人物の会話をつなげていく。

ジュクワザ 熟技

76

原因・理由の説明

≪ 本冊170ページ

76

原因・理由を説明する問題は、本文中で根拠を探そう！

熟技解説

原因・理由を説明する記述問題は入試頻出。論説文も物語文も、「なぜそう言えるのか」を常に意識しながら読んでいく！

ひとことコメント

原因・理由の説明でよくあるミスは、解答が「原因」や「理由」になっていないというパターン。——線部と同じ内容を繰り返しても正解にならない。

線部の説明

＜本冊172ページ

77

「どついでどついでですか」と問われたら、パーツに分けて言い換える！

熟技解説

—線部の説明問題は、記号選択問題の形でも問われるが、「わかりやすく言い換える」ための方法は共通している。パーツに分解して、わかりにくいところを言い換えることを意識しよう！

ひとことコメント

—線部の中に「比喩表現」「指示語」「個人言語」「慣用的表現」ことわざ「難解語句」が含まれていたら、言い換えのポイントになるから、チェックしておこう。

人物の気持ちの説明

＜本冊174ページ

78

人物の気持ちを説明する問題は、「原因・理由＋気持ち」の形で答えるのが基本！

熟技解説

人物の気持ちの説明問題は、中学入試の国語で頻出！普段から「原因・理由」と「気持ち」をつなげて説明する練習をしよう。

ひとことコメント

「ど」のような気持ちですか」と問われた場合の解答の末尾は、「気持ち」という体言止めでなくともかまわない。「～する」「～になった」など、自然な文になるようにまとめよう。

人物の気持ちの変化の説明

≪ 本冊176ページ

79

人物の気持ちの変化の説明は、「変化前」「きっかけ」「変化後」の三つをそろえる！

塾技解説

人物の気持ちの変化を説明する記述問題では、まずは基本の解答の型をしっかり学習しよう！

ひとことコメント

人物の気持ちの変化の説明の解答の末尾は、「〜という変化」とする必要はない。「〜に変化した」「〜に変わった」「〜になった」など、自然な文になるようにまとめよう。

「対比」の記述

≪ 本冊178ページ

80

「対比」の記述は、解答のフォームと解答の要素が高得点のカギとなる！

塾技解説

「対比」の記述は、「解答のフォーム」と「解答の要素を対比してそろえる」という「下準備」の段階で勝負が決まる。あわてて解答を書き始めて要素を取りこぼすことのないように注意しよう！

ひとことコメント

「対比」の記述で安定して得点するためには、解答要素の数を意識してバランスよくまとめる練習をするのが効果的。

ジュクワザ
熟技

81

「類比（共通点）」の記述

＜本冊180ページ

81

「類比」の記述は、異なるものの中にある共通点を自分自身でまとめていこう！

熟技解説

「類比」の記述は、論説文で出題されることが多いが、物語文でも、登場人物の思いや境遇、人物像などの共通点を説明するというパターンがある！

ひとことコメント

「類比」の記述では、それぞれの細かい説明をするのではなく、両者に対してはまるまる言葉に言い換えて共通点を説明する方がよい。

ジュクワザ
熟技

82

「皮肉」と「逆説」の記述

＜本冊182ページ

82

「皮肉」と「逆説」の記述は、「対比」の記述の考え方を応用する！

熟技解説

「皮肉」と「逆説」の記述では、対立する二者の関係を説明する。小学生にとってはハイレベルだが、難関校を目指す人はマスターしておこう！

ひとことコメント

「……と言いつながりも……と聞いてくる」「……を期待したが、かえって……になった」「……でありながらも実は……である」などの型を意識して、対立する二者を説明しよう。

ジュクワザ 熟技

83

記述の注意点①
指示語・代名詞の扱い

本冊184ページ

83

記述の解答では、指し示しているものが
ない状態で「指示語」や「代名詞」を使わない！

熟技解説

記述の解答を書いたら、必ず読み返して、どの内容を指しているのかわからない指示語や代名詞がないかどうかを確認しよう！

ひとことコメント

記述の解答の中に、「指示語の指し示すものがある→指示語を使ってもよい」「指示語の指し示すものがない→指示語を言い換える」の区別を覚えておこう。

ジュクワザ 熟技

84

記述の注意点②
セリフの扱い

本冊186ページ

84

文章中のセリフは、そのまま使わずに言い換える！

熟技解説

登場人物のセリフが記述解答の要素になる場合には、話し言葉を書き言葉に言い換えて答案に盛り込むようにしよう！

ひとことコメント

人物のセリフが解答の根拠になる場合には、発言内容を取り違えないようにするために、誰のセリフなのかをしっかりと確認するよう心がけよう。

ジユク ワザ
熟技

85

記述の注意点③
間接的な表現の扱い

≪ 本冊188ページ

85

比喩表現や否定表現などの間接的な表現は、直接的な表現に言い換える！

熟技解説

記述問題の解答は「わかりやすく書く」ことを意識する。比喩表現や擬態語などは減点される可能性が高いので、自分の解答に含まれていないかどうかを確認しよう！

ひとことコメント

試験時間の中で適切な言い換えが出てこない場合には、間接的な表現を用いて解答をまとめることもあるが、それはあくまで最終手段。できるだけ言い換えを考へるよう心がけよう。

ジユク ワザ
熟技

86

記述の注意点④
無駄な言葉を省く

≪ 本冊190ページ

86

正解に必要な要素を入れるために、無駄な言葉をできるだけ省く！

熟技解説

多くの字数で書くよりも、短く簡潔にまとめるほうが難しい。無駄な言葉を省いて、必要な要素を入れるようにしよう！

ひとことコメント

解答の要素を複数そろえたうえで、優先して盛り込むべきものから入れていくと、無駄な言葉が入りづらくなるよ。

字数指定のある記述問題

＜本冊192ページ

87

字数指定のある記述問題は、解答の要素の数をそろえてから書き始める！

塾技解説

字数指定のある記述問題は、解答を書き始める前に解答の要素の数を考えとともに、無駄な言葉を入れずに簡潔に書くことを心がけよう！

ひとことコメント

字数指定のある記述問題で「字数（マス目）が大幅に余った」という場合には、不足している要素がある可能性が高い。もう一度、本文で解答に必要な要素を探すようにしよう。

字数の多い記述問題

＜本冊194ページ

88

多くの字数で説明する記述問題は、「解答の」ア（＝核）を考えるとから肉付けする！

塾技解説

多くの字数で説明する問題では、「核」の部分を決めてから、「何を」「どのくらいの字数で」「肉付けするかを戦略的に考えてみよう！

ひとことコメント

設問の中で「肉付けすべき内容」が指示されていることも多い。「～をひまえて」「～と比べて」「～をもとに」などの条件を見逃さないようにしよう。

字数の少ない記述問題

＜本冊196ページ

89

「自分の言葉で」「要点をまとめるタイプの記述問題は、本文中の内容を簡潔に言い換える！」

熟技解説

「自分の言葉で」「要点をまとめる問題に対応するためには、普段から「短く言う」という練習を、「と考えながら、長い文章を短くまとめるトレーニングをするのが効果的！」

ひとことコメント

二十〜三十文字程度の少ない字数でまとめることが求められる記述問題では、具体例はすべて省き、まとめのみで解答を構成する練習をしよう。

語句が指定されている記述問題

＜本冊198ページ

90

語句が指定されている記述問題は、それが本文で使われている箇所を確認する！」

熟技解説

語句が指定されている記述問題は、「正解に必要な要素」が示されているので解きやすい。指定された語句が本文で使われている箇所をチェックして、確実に得点につなげよう！

ひとことコメント

設問で指定されている語句を使わなかった場合、減点もしくは採点されないこともあるので注意する。すべての語句を確実に盛り込んで答案を作成しよう。

自由記述の問題

≪ 本冊 200 ページ

91

自由記述の問題は、本文の内容や設問の指示をふまえてわかりやすい解答を書く！

熟技解説

自由記述の問題の解答は、問われていることと関係のないことを書いてしまうと大きく減点される。面白い内容を考えるよりも、設問の意図を正しくつかんでわかりやすく書くことを重視しよう！

ひとことコメント

自由記述の問題は、すべてを自由に書いてよいという問題ではない。決められた条件を守ったうえで、自分自身の体験などをふまえた具体例を入れてまとめている。

図表やグラフの問題

≪ 本冊 202 ページ

92

図表やグラフを含む読解問題は、本文との対応関係を考える！

熟技解説

図表やグラフの問題では、本文をしっかり読んで、本文と図表やグラフがどのように結びついているかを考えよう！

ひとことコメント

図表やグラフは、数値などの情報が多いので、すべてをくまなく見ていると時間切れになってしまふ。本文や設問を確認して、見るべき箇所をしばるようになっている。

写真やイラストの問題

＜本冊204ページ

93

写真やイラストを使った問題は、読解力だけでなく、「観察力」も試される！

熟技解説

写真やイラストを使った読解問題は、本文の内容をふまえてイラストや写真を注意深く観察して、その特徴をつかんでいこう！

ひとことコメント

写真やイラストの問題は、多くの場合、文章などと合わせて出題されるので、写真やイラストと本文の対応関係をとらえて解らなければならない。

会話形式の問題

＜本冊206ページ

94

会話形式の問題は、空欄補充タイプと内容一致タイプに分かれる！

熟技解説

会話形式の問題は、会話調になっていることを除けば普通の問題と変わらない。本文と照らし合わせながら確実に正解を選ぼう！

ひとことコメント

会話形式の問題は、これまでに学んできたことを使えば十分に対応できるよつになっている。会話という「形式」に振り回されずに落ち着いて考えていこう。

ジュクワザ 熟技

95

まとめのノートの問題

＜本冊 208 ページ

95

まとめのノートの問題では、本文の構造を正確につかむ力が試ためされる！

熟技解説

まとめのノートは、本文の大事な内容をギュッと凝縮ちようしゆくしたもの。ノートの内容が本文のどこに書かれているのかを、すばやく探せるようにしよう！

ひとことコメント

ノートやメモの問題では、本文の内容をまとめたものが示されたり、発展的な考察が示されたりする。まずは本文をしっかり読み、そのうえでノートを見るようにしよう。

ジュクワザ 熟技

96

熟語

＜本冊 210 ページ

96

二字・三字熟語は構成を意識して覚える。四字熟語は間違まちがえやすいものをチェックしよう。

熟技解説

熟語の習得は日頃ひごとろからの積み重ねが大切！ 知らなかった熟語の意味を調べてノートにまとめておくようにしよう。

ひとことコメント

漢字パズルの問題を考えるときには、音読みと訓読みを組み合わせながら、さまざまな熟語を思い浮かべてみよう。

ジュク ワザ 熟技

97

対義語・類義語

本冊 212 ページ

97

対義語と類義語は、書き取りの問題に対応できるようにしておこう！

熟技解説

対義語と類義語の問題で問われる言葉は、だいたい決まっている。そこで失点しているようでは、合格点は取れないと心得よう！

ひとことコメント

対義語と類義語は、文章を読解するときに重要になる。空欄補充問題でよく問われるので、確実に覚えておこう！

ジュク ワザ 熟技

98

ことわざ・慣用句

本冊 214 ページ

98

ことわざ・慣用句を覚えるコツは、反対の意味・似た意味・グループ分け！

熟技解説

ことわざ・慣用句を覚えるときには、例文や実際の使い方と一緒に確認しておこう！

ひとことコメント

ことわざの問題では、外国のことわざが出題されることも多い。多くは、日本のことわざと似た意味のものを答える形式なので、まずは日本のことわざの意味をきちんと理解しておこう！

ジュクワザ 熟技

99

文の組み立てと品詞の種類

本冊 216 ページ

99

読解にいかせるように、文の組み立てと品詞の種類を理解しよう！

熟技解説

主語と述語は文の骨格にあたるものなので、文章読解の際にも、意識して確認していきましょう！

ひとことコメント

文法の問題が大問で問われることはそんなに多くないけれど、読解問題の中で文法事項が問われるケースがあるので、苦手分野を作らないようにしておきましょう。

ジュクワザ 熟技

100

敬語

本冊 218 ページ

100

敬語の種類を確認して、「尊敬語」と「謙譲語」を正しく使い分けられるようにしよう！

熟技解説

敬語は、「誰の」動作につくのかによって、「尊敬語」を使うのか「謙譲語」を使うのかが決まる。敬語動詞もしっかり覚えておきましょう！

ひとことコメント

敬語の誤りを直す問題が出題されやすいので、「二重敬語などの」
「オレがあなたを直す問題が